



防水ケース 本体セット

取扱い方法については
各機器の取扱説明書をご覧ください。

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明



警告

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。



注意

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

施工上のお願い

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。

・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□施工の前に



警告

●不適切な場所への設置は、火災、感電、落下、破損のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・天井面、傾斜面、据置き、本体より小さい取付け面、補強されていない面、湿気の多い場所へ設置しないでください。



天井面



据置き



本体より
小さい取付面



補強のない
薄い場所

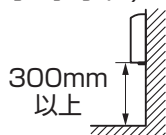


傾斜面



浴室など湿気
の多い場所

・地面より 300mm 以上離れた位置に取付けてください。(冠水時対策)



・給湯、暖房機器等の排気熱が直接当たる場所に設置しないでください。

・燃えやすいものの近くに設置しないでください。

●無線中継器はDC12V仕様ですので、AC100Vを直接配線しないでください。

●防水ケースの上部には20mm以上のスペースを確保してください。



警告

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の施工業者による施工をお願いします。

●植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器(ICD)をお使いの方は、通電時に密着するような姿勢はとらないでください。

施工上のお願い

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みいただき、施工してください。

●無線中継器は、カメラと無線接続できることを確認してから取付けてください。

●取付ける部材は幅90mm以上確保できていることを確認してください。

●日常的に使用する動線範囲内に配線する場合、つまづき等のおそれがあります。設置に関しては施主様と地上・地中配線をご相談ください。

●トランス電源の施工は、トランス電源の取付説明書にしたがってください。

●梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

施工上のご注意

警告

- 火災、感電のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・機器の改造はしないでください。
 - ・差し込みプラグを抜いた状態またはブレーカーを切って取付けてください。

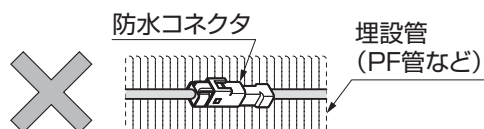
注意

- ねじは当社指定品を指定本数使用し、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 <推奨トルク>
 φ4ねじ:2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)
 φ3ねじ:0.9N・m±0.3N・m (樹脂への取付)
- インパクトドライバでねじを締め付けしないでください。部材、ねじやナットが破損し漏水の原因になります。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 取付面に凹凸がある場合、指定の箇所にシーリングしてください。背面から水漏れの原因になります。
- 使用するシーリング材は、以下のアルコール系シーリング材を現場で手配してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（株）	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

施工上のお願

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除いてください。
- 埋設管(PF管など)内で結線しないでください。



電気配線工事について

警告

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 火災、感電、故障のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・通電状態で施工しないでください。
 - ・取付けの際は、安全のためブレーカを切ってください。
 - ・無線中継器は、DC12V以外では使用しないでください。
 - ・無線中継器との接続は、別売りの当社製トランス電源ユニット35W以上と組み合わせて使用してください。(DC12V仕様)
 - ・電源ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
 - ・ケーブルに重いものをのせて挟まれた状態にしないでください。
 - ・濡れた手でAC100Vプラグ、コネクタの抜き差しをしないでください。

施工チェックシート

※施工時に下記を必ずご確認ください。この項目を守らないと不具合発生につながります。

No.	チェック内容	
1	シーリングしている場合、防水ケースカバーが外せることを確認してください。	☐
2	カメラが通電できていることを確認してください。	☐
3	中継器がある場合は、カメラと中継器が無線接続できているか確認してください。	☐

No.	チェック内容	
4	施工完了後、カバーがカチッと音がするまで閉め、本体とカバーの下面が合っていることを確認してください。	☐
5	取付商品の保証書を含む取扱説明書一式を施主様にお渡しください。	☐

梱包明細表

【1】防水ケース本体セット		
名 称	略 図	員 数
防水ケースセット (ベース、カバー)		1
【1a】φ4×40十字穴付フランジ付タッピンねじ		3
【1b】フィッシャープラグS6		3
【1c】スペーサー		1
【1d】中継器取付パーツ		2
【1e】φ3×12トラスタッピンねじ		2
取付説明書【EXM-272】	—	1
保証書【EXM-274】	—	1

【2】トランス電源用スタンド		
名 称	略 図	員 数
スタンド本体		1
スタンドベース		1
【2a】φ5×20皿タッピンねじ3種		2
【2b】φ4×20トラスタッピンねじ3種		3
【2c】M4平座金		3

1 配線参考図

※地中配管(コンクリートやモルタルで埋設)する場合、メンテナンスを考慮し埋設管を使用して敷設してください。

施工上お願い

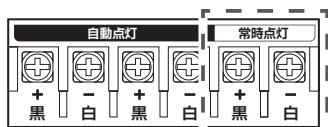
- 配線参考資料は右記の2次元コードを読み取ってご確認ください。



URL: https://s.lixil.com/camera_connection

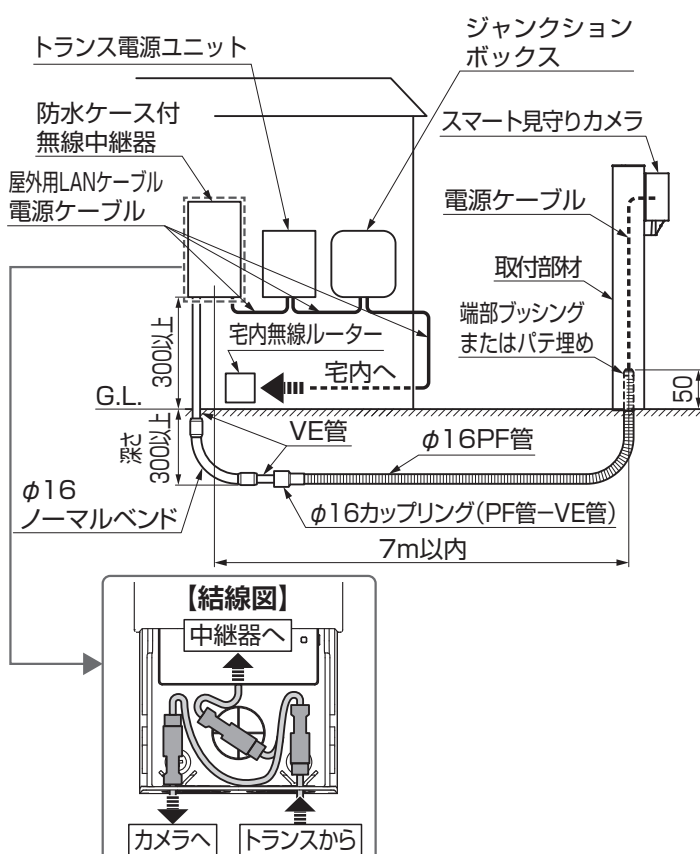
- 屋外に無線中継器を設置する場合は、中継器と宅内ルーターは屋外用LANケーブルでの接続を推奨します。無線中継器の背面の切り替えスイッチを「有線」に変えてください。※P.6 ③-2 無線中継器との組合せの場合 参照
- ※CAT5以上の屋外用LANケーブルを現場手配してください。
- 2分岐ケーブルを使い、防水ケース内で結線してください。

- トランス電源ユニットは35W以上を選定し、「常時点灯」ラインへ接続してください。



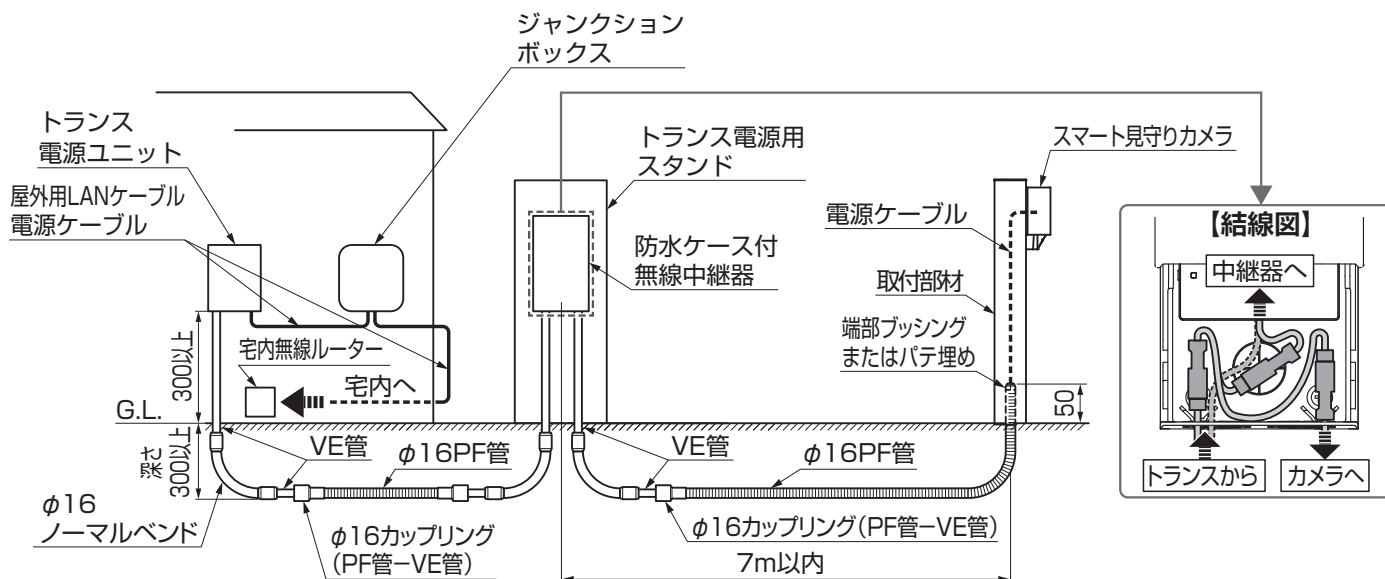
- ※詳細はトランス電源ユニットの施工説明書を参考にしてください。
- 地中配管の場合、車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深600mm以上にしてください。
- 無線中継器 屋外仕様、トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。
- PF管は水が侵入しないようにブッシング等で養生してください。※P.4「●端部ブッシングの取付け」参照

＜無線中継器 屋外仕様(住宅壁取付)の場合の配線参考図＞



1 配線参考図

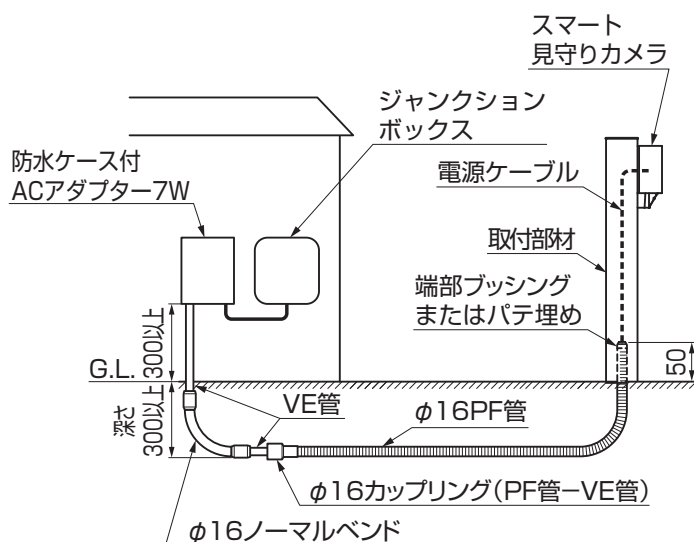
<無線中継器 屋外仕様(スタンド取付)の場合の配線参考図>



<防水ケース付 ACアダプター7Wの場合の配線参考図>

施工上のお願い

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- コンセントプラグを使用する場合は、現場にて手配をお願いします。
- ACアダプター7Wを使用する場合は、スマート見守りカメラ1台の接続までです。無線中継器や複数台と接続する場合は35W以上のトランス電源ユニットを使用してください。
- 地中配管の場合、車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
- 無線中継器 屋外仕様、トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。
- PF管は水が侵入しないようにブッシング等で養生してください。※下記「●端部ブッシングの取付け」参照

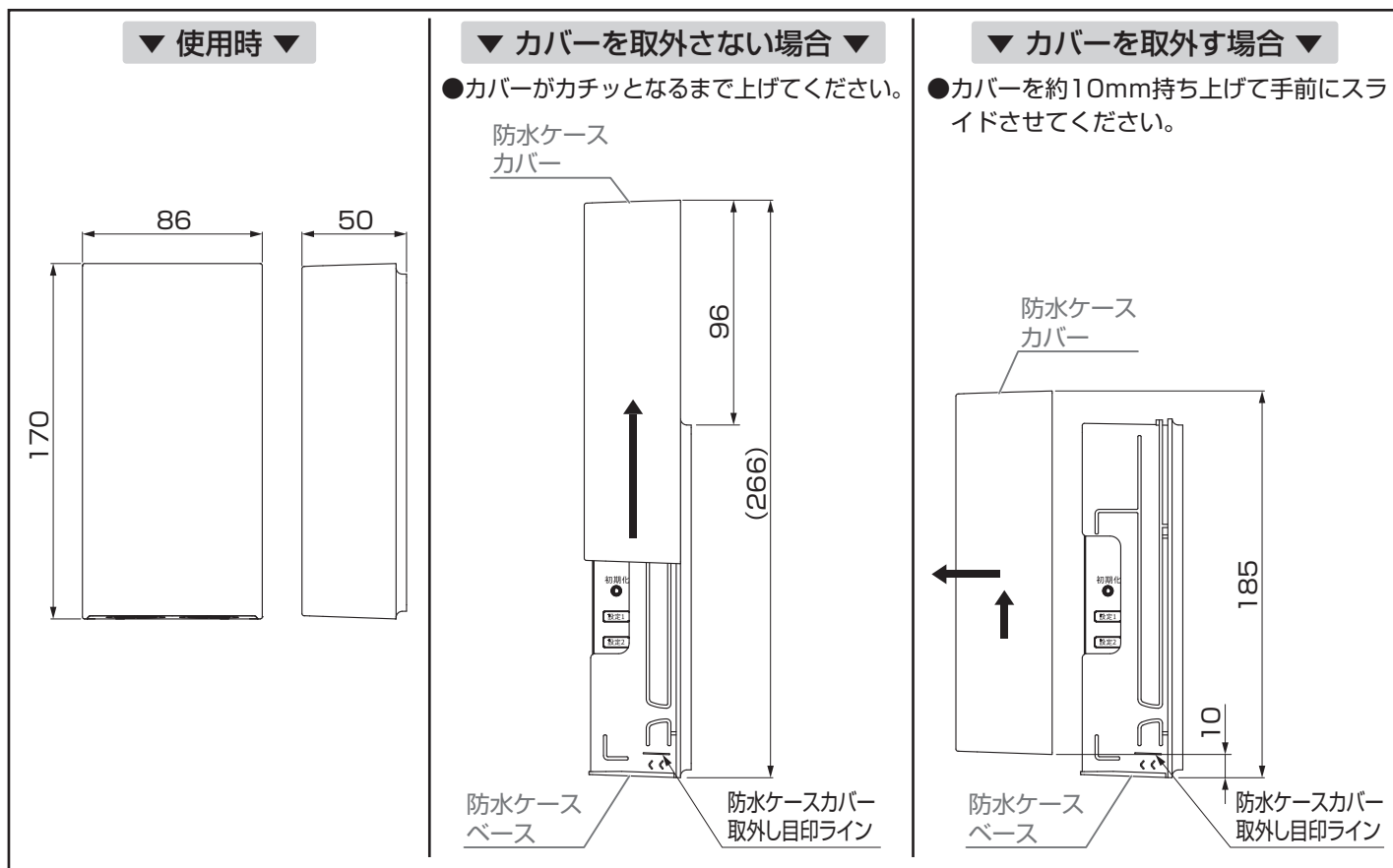


●端部ブッシングの取付け

- ①ケーブル径に合わせブッシングの先端を切断します。
- ②ブッシングの縦溝を切り込み、半割れにします。
- ③ブッシングをケーブルにはさみ、管に差し込みます。
※ブッシングとケーブルのすき間はビニルテープで防水処理をしてください。

2 基本寸法と各部の名称

無線中継器 組合せ例

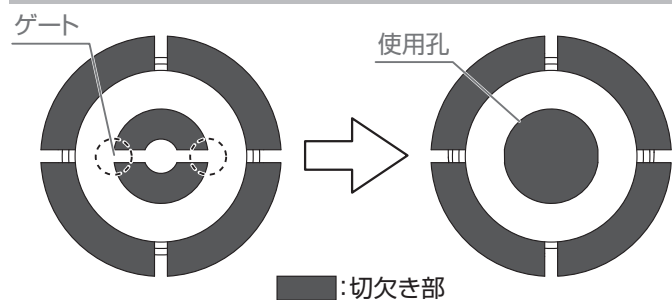


3 防水ケースの組付け

3-1 配線引出孔の加工

1: 防水ケースの底面部にある配線引出孔をニッパーやペンチでゲート(点線丸部)をカット

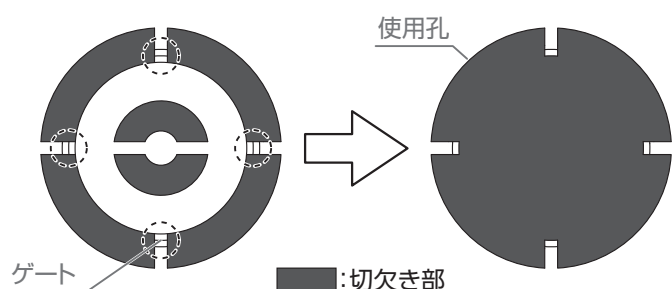
■ 配管部材を使用しない場合



■ 配管部材を使用する場合

施工上のお願い

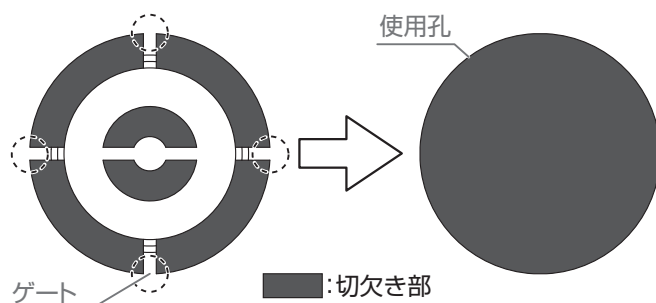
●Vカット溝に沿ってカットしてください。



■ φ16用ジャンクションコネクターを使用する場合

施工上のお願い

●カット残しが無いようにカットしてください。



3 防水ケースの組付け

3-2 無線中継器との組合せの場合

施工上のお願い

- 無線中継器本体は非防水ですので、雨の日や濡れた手で取付けや操作をしないでください。

- 1: 防水ケースからカバーを外し、同梱部品を取出す
- 2: 【1d】を2つ防水ケースベースに取付け

施工上のお願い

- クリック感があるまで押し込んでください。

- 3: 中継器を有線LANで取付ける場合、背面のスイッチを「有線」にする
- 4: 無線中継器に電源変換ケーブルと屋外用LANケーブルを接続

施工上のお願い

- 部材は無線中継器の取扱説明書を参照してください。

- 5: 2分岐ケーブルで変換ケーブルとカメラ用ケーブル、電源線を接続して内部に配置
- 6: 無線中継器を防水ケースに取付けて動作

施工上のお願い

- 無線中継器の上部を防水ケース凸部に合わせて、クリック感があるまで下にスライドしてください。

- 7: スマート見守りカメラと無線中継を無線接続

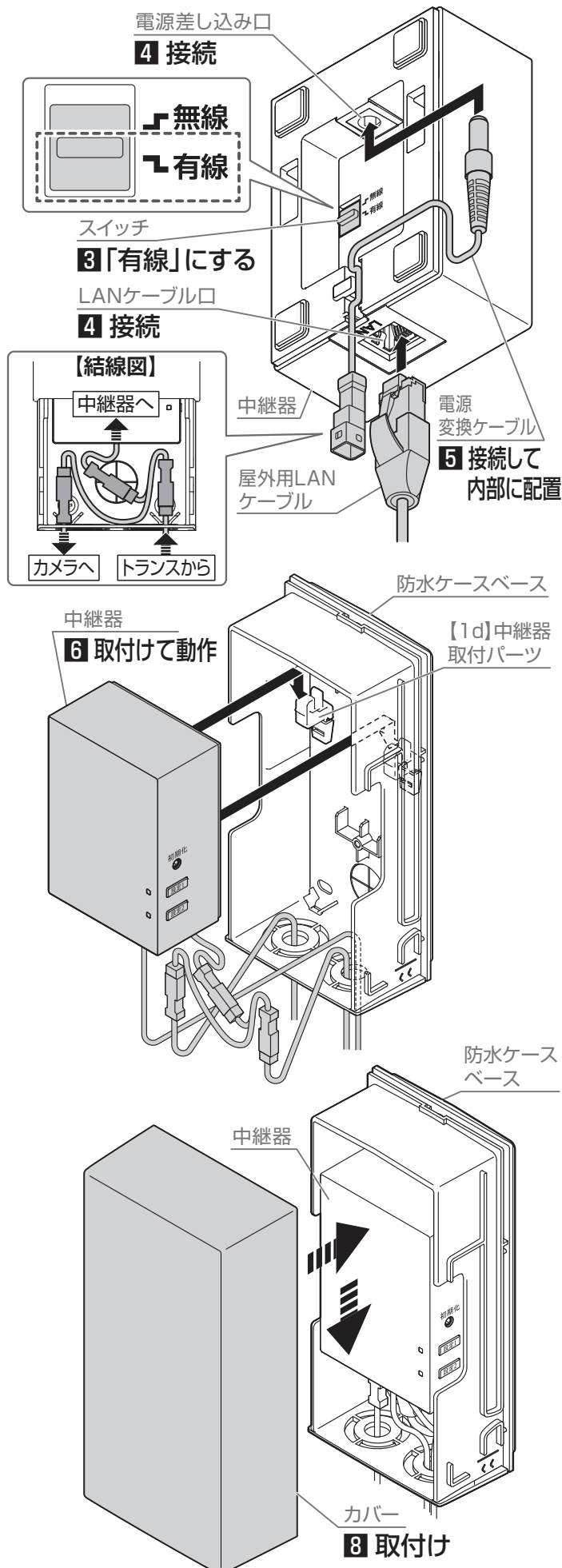
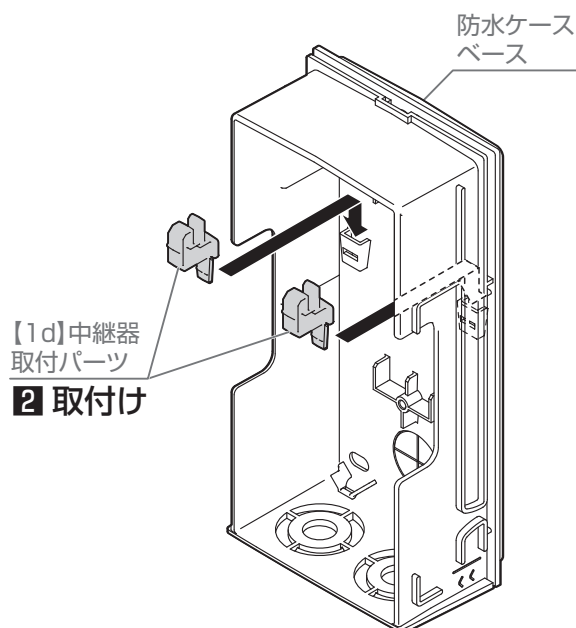
施工上のお願い

- カメラの取付方法は取付部材の取付説明書を参照してください。
- 7の詳細な設定手順は右記の2次元コードを読み取ってご確認をお願いします。



URL: https://s.lixil.com/camera_set_repeater

- 8: **【3-4】部材への取付け** で部材に取付後、防水ケースのカバーを取付け



3 防水ケースの組付け

3-3 ACアダプター7Wとの組合せの場合

⚠ 警告

- 1次電源(AC100V)の結線、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- ACアダプター7Wは非防水ですので、雨の日や濡れた手で取付けや操作をしないでください。

- 1: 防水ケースからカバーを外し、同梱部品を取出す
- 2: ACアダプターを【1e】で取付け
- 3: 一次電源を配線
- 4: カメラ側のコネクタとDC12V側防水コネクタを接続
- 5: ACアダプターの電源を入れてカメラが動作するか確認

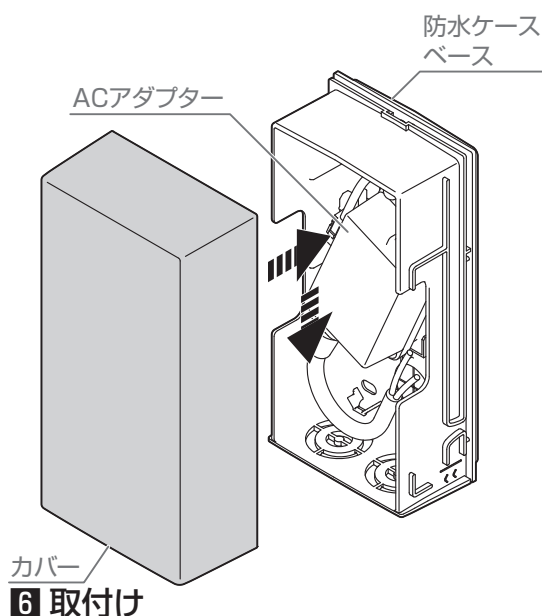
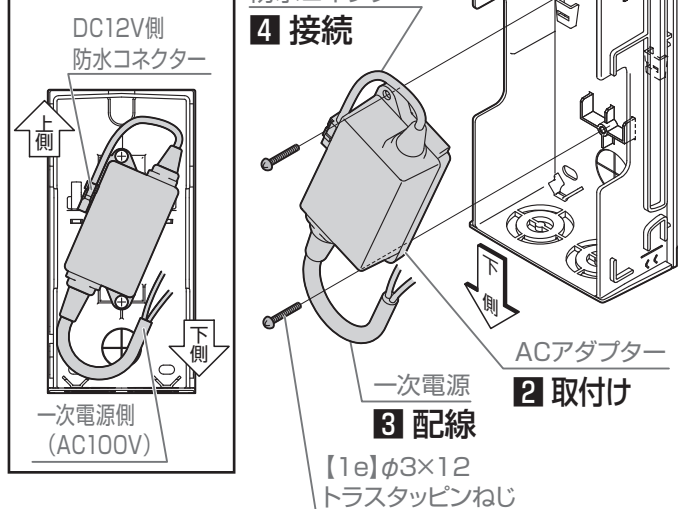
施工上のお願い

- 詳細は取付機器の取扱説明書を参照してください。

- 6: **3-4 部材への取付け** で部材に取付後、防水ケースのカバーを取付け

施工上のお願い

- 1次電源線(AC100V)が下になるように取付けてください。



3-4 部材への取付け

※以下手順はモルタル、ブロック壁等の場合です。

上記躯体以外に設置する場合は $\phi 4$ ねじ用に適当な下穴をあけてねじ固定してください。

- 1: 防水ケースを取付ける位置に合わせて取付け

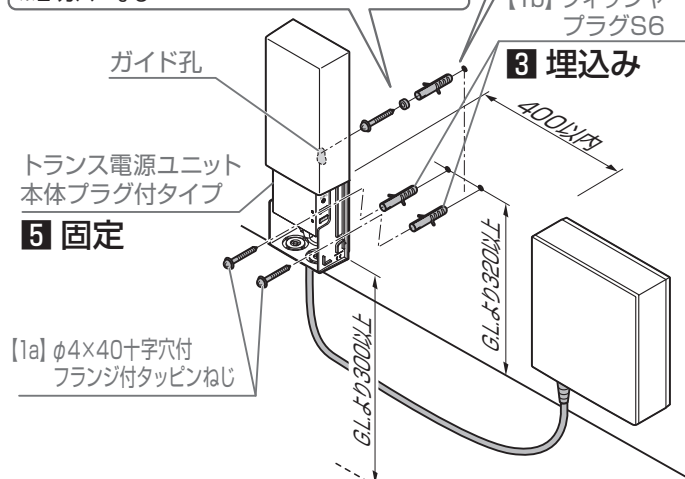
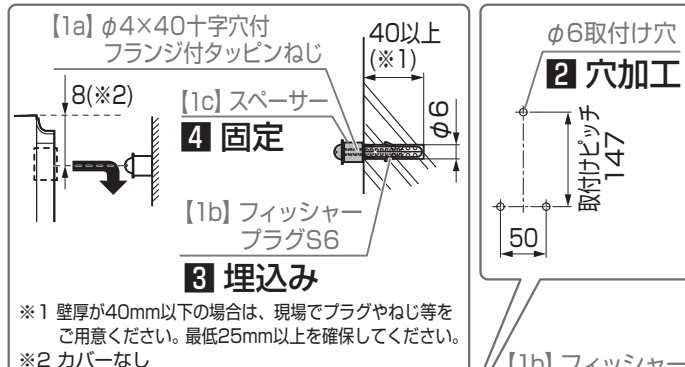
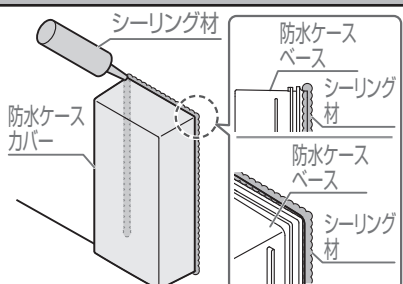
施工上のお願い

- 穴をけがき、けがいた位置に $\phi 6$ の下穴加工をしてください。(深さ40mm以上)

- 2: 【1a】を下穴に埋込み
- 3: 【1b】で【1c】を壁に固定
- 4: 防水ケースベース裏面上部のガイド孔に【1c】をはめ込み、【1b】で壁に固定め込み、【1a】で壁に固定

施工上のお願い

- 取付面に凹凸がある場合、防水ケース、ベースの上部と側面をシーリングしてください。シーリング材がカバーに付着しないように注意してください。カバーが外せなくなります。



⚠ 警告

- 器具の改造はしないでください。火災、感電のおそれがあります。

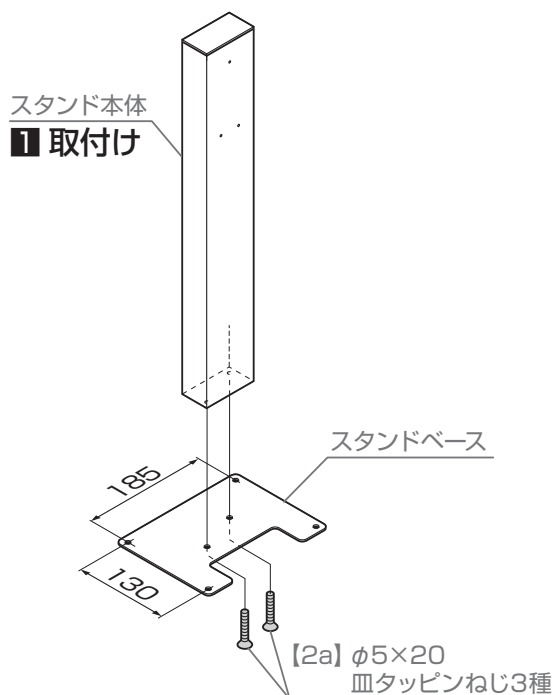
施工上のお願い

- ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。
- 木造の構造体に固定する場合、現場の状況に合わせて現場でねじを手配してください。

4 スタンドの組立てと取付け

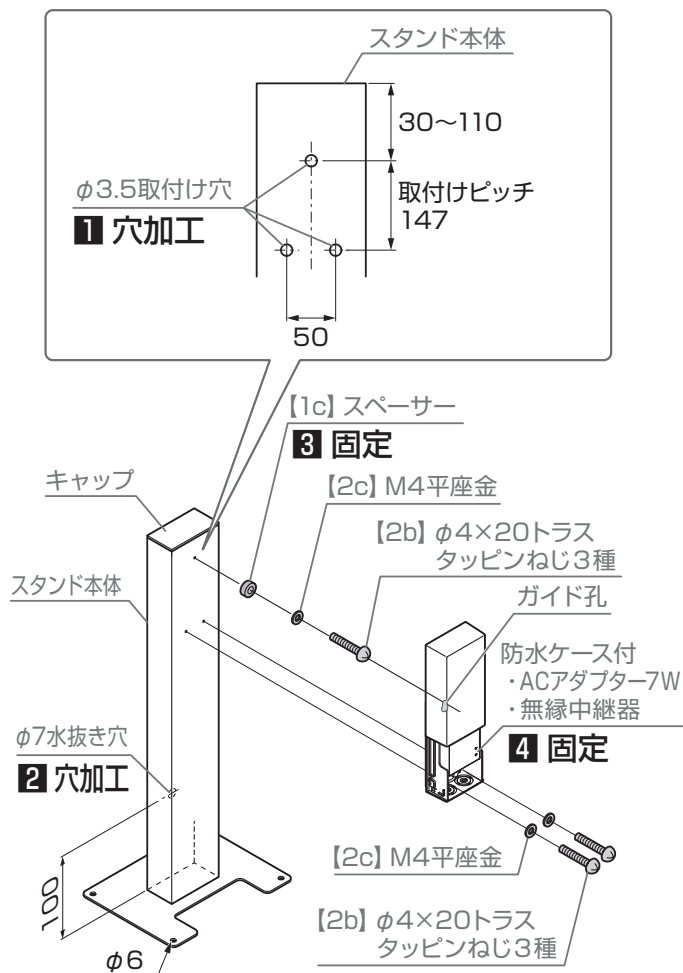
4-1 スタンドの組立て

❶: スタンド本体をスタンドベースに【2a】2本で取付け



4-2 トランス電源ユニット本体の取付け

- ❶: 防水ケース本体を取付ける位置に合わせて取付け穴をけがき、けがいた位置にφ3.5の下穴加工
- ❷: スタンド本体の背面側にφ7の水抜き穴加工
- ❸: 【2b】【2c】で【1c】をスタンド本体に固定
- ❹: 防水ケース本体裏面上部のガイド孔に【1c】をはめ込み、【2b】【2c】でスタンド本体に固定
- ❺: P.6 **3-2 無線中継器との組合せの場合**を参照して中継器を取付け



施工上のお願い

- 風が強くスタンドが倒れるおそれがある場所へ設置する場合は、ベースのφ6穴を使用してアンカーボルト等(別途手配)で固定してください。

5 施工後の確認事項

施工上のお願い

- 施工後は、チェックリストにしたがって確認してください。
- 必ず保証書に必要事項を記入して施主様にお渡しください。
- 操作方法・注意事項は、取付商品の取扱説明書をご確認するよう施主様にお伝えください。

取説コード

EXM-272

JZZ642502
202606_1049